



ロアッソ熊本

ロアッソ熊本 产学連携プロジェクト2021 1/2

ロアッソ熊本では、クラブ理念にも掲げている「熊本に活力を生むためにはどうすればいいのか?」という地域課題と向き合っていく中で、「熊本の未来を担う若い人達が生き生きと働く地域を創っていくこと」がその課題解決手段の一つと考えました。その取り組みの一環として、パートナー企業の(株)マイナビと協働し、コロナ禍でも、県内の魅力あふれる企業の皆様と連携しながら、インターンシップを通じて学生のキャリアづくりをサポートしていく「ロアッソ熊本 产学連携プロジェクト2021」をスタートさせました。



活動場所 えがお健康スタジアム、SAKURA MACHI Kumamoto、JA菊池 西営農センター、JA菊池管内農地、オンライン上

**協働者**

企業、農業団体、学生

協働者名

株式会社マイナビ、九州産交ランドマーク株式会社、
株式会社ジェイコム九州 熊本局、
菊池地域農業協同組合(JA菊池)

**協働者の声** 九州産交ランドマーク株式会社／本田 萌華 氏

今回初めての試みで当初は不安がありましたが、積極的に行動する学生が多く、みんなで一つの物を作り上げ、実際にお客様と触れ合い、楽しみながら活動する姿が見られ、私達も刺激を受けました。参加した学生からは、次回も参加したい、この経験を就活に活かしていく等の声があり、本企画が地域活性の一助となれば幸いです。

**活動詳細情報**1 [公式サイト①](#)2 [公式サイト②](#)3 [公式サイト③](#)4 [熊本学園大学HP](#)5 [JA菊池HP](#)**カテゴリー(SDGs)/取り組みテーマ**



ロアッソ熊本

ロアッソ熊本 産学連携プロジェクト2021 2/2

Story

6-7月に実施したプロジェクト第1弾は、県内有数の商業施設であるSAKURA MACHI Kumamotoの運営会社九州産交ランドマーク(株)と連携し、「SAKURA MACHI Kumamoto 実践！プロモーション活動5Daysインターンシップ」を実施しました。募集要項は(株)マイナビのネットワークを活用し、県内大学へ展開。クラブオウンドメディアと併せて参加学生を募りました。学生には、PR広告を企画・デザインしてもらい、その広告入れた1000枚のうちわを、クラブのイベントにてファン・サポーターの皆さんへ配布しました。また、配布したうちわの裏面を使用し、ファン・サポーターが



自由に選手の背番号や名前をデコレーションできるワークショップも同日開催。実際に自分達が試行錯誤しながら作った広告入りのうちわで、お客様が喜んだり、楽しんだりする姿を直に感じることができて、学生達も本当に感激していました。8-10月に実施した第2弾の(株)ジェイコム九州熊本局との連携では、「J:COM 実践！番組制作体験4Daysインターンシップ」と題し、ロアッソ応援番組の企画・取材までを学生が体験。コロナ禍のため、オンラインでの企画会議となりましたが、そういった状況下でも、学生の皆さんによる様々なアイディアのおかげで、新しい切り口での番組コーナーが完成しました。イメージだけとは違って、実際に体験することでその仕事の大変さやチームで一つのもの創ることの楽しさを感じてくれたようです。そして、10月に実施した最終第3弾では、JA菊池と連携し、「秋すいかの収穫・選果・販売の仕事を全て体験！JA菊池2 Daysインターンシップ」を実施しました。コロナ禍で農業に関わる仕事を志す学生の実践機会が減る中、直接農家さんやJA職員、消費者の皆さんと触れ合えるとても貴重な体験となつたようです。



今後とも、ロアッソ熊本では、県内企業の魅力を発信し、若い人達が生き生きと働くことができる地域づくりに積極的に取り組んでいきます。